

2018年3月期 決算説明会

ジオマテック株式会社
create coating solutions

2018年 5月22日

2018年3月期決算主なニュースリリース

[決算関連情報]

■2017年

8月8日 平成30年3月期 第1四半期決算短信

11月1日 平成30年3月期 業績予想の修正

11月7日 平成30年3月期 第2四半期決算短信

■2018年

2月8日 平成30年3月期 第3四半期決算短信

5月15日 平成30年3月期 決算短信

[新製品等関連情報]

■2017年

5月31日 ネクスコ・エンジニアリング北海道とジオマテック、ドーム型監視カメラ向け結露防止・着雪防止用ヒーターの共同開発に関するお知らせ

6月19日 住宅設備向け透明ヒーターの開発及び販売についてのお知らせ

■2018年

1月12日 車載カメラの透明ヒーター付きレンズカバーの試験採用に関するお知らせ

1月25日 三井金属鉱業株式会社が開発したFOPLP (Fan Out Panel Level Packaging) 用ガラスキャリア付き微細回路形成材料「HRDP®」への薄膜提供に関するお知らせ

2018年3月期業績結果について

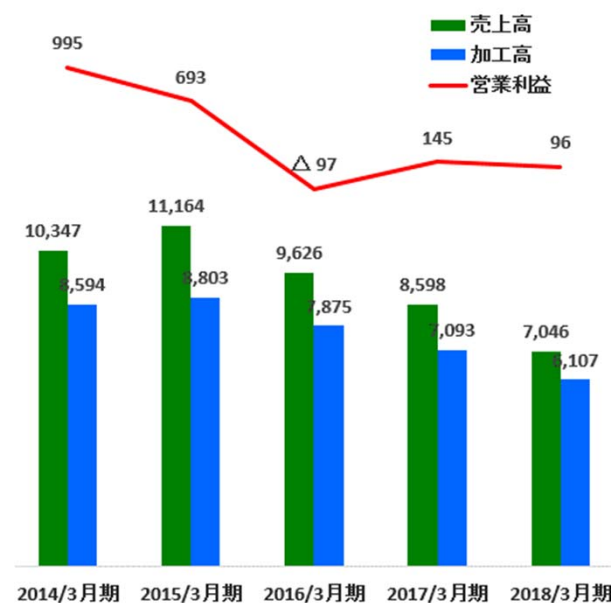
2018年3月期決算概要《連結》

連結損益計算書

売上高	7,046 百万円
営業利益	96 百万円
経常利益	98 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	79 百万円

単位:百万円	2018年3月期	2017年3月期	前期比	計画比
売上高	7,046	8,598	81.9%	98.5%
売上総利益	1,790	1,821	98.3%	98.8%
販売管理費	1,693	1,675	101.1%	98.9%
営業利益	96	145	66.2%	96.0%
経常利益	98	224	44.0%	82.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	79	△ 2,266	—	71.8%
1株当たり 当期純利益	10.05	△ 286.51	—	71.8%
研究開発費	379	401	94.5%	94.8%
設備投資額	419	427	98.1%	93.1%
減価償却費	432	796	54.3%	96.0%
加工高	6,107	7,093	86.1%	99.3%

売上高 加工高 営業利益



※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上(付加価値収入)のことです。
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

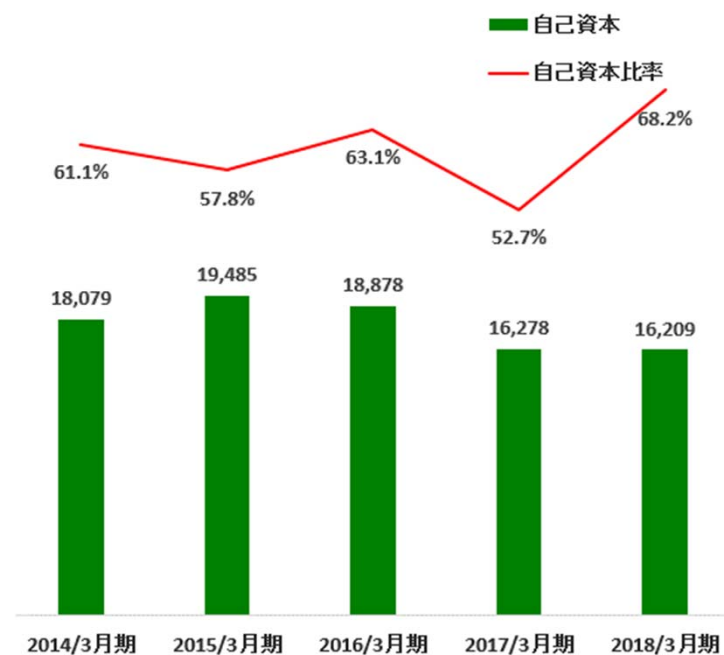
2018年3月期決算概要《連結》

連結貸借対照表

総資産	23,761 百万円
負債合計	7,552 百万円
純資産合計	16,209 百万円

単位:百万円	2018年3月期	2017年3月期	前期比
流動資産	17,909	25,068	△ 7,159
現金・預金	8,500	8,595	△ 95
受取手形・売掛金	6,574	13,668	△ 7,094
固定資産	5,851	5,832	19
有形固定資産	3,741	3,711	30
負債	7,552	14,623	△ 7,071
支払手形・買掛金	5,225	11,794	△ 6,569
借入金等	1,494	2,029	△ 535
純資産	16,209	16,277	△ 68
総資産	23,761	30,901	△ 7,140
自己資本比率	68.2%	52.7%	15.5
1株あたり純資産(円)	2,049.14	2,057.80	△ 8.66

自己資本、自己資本比率

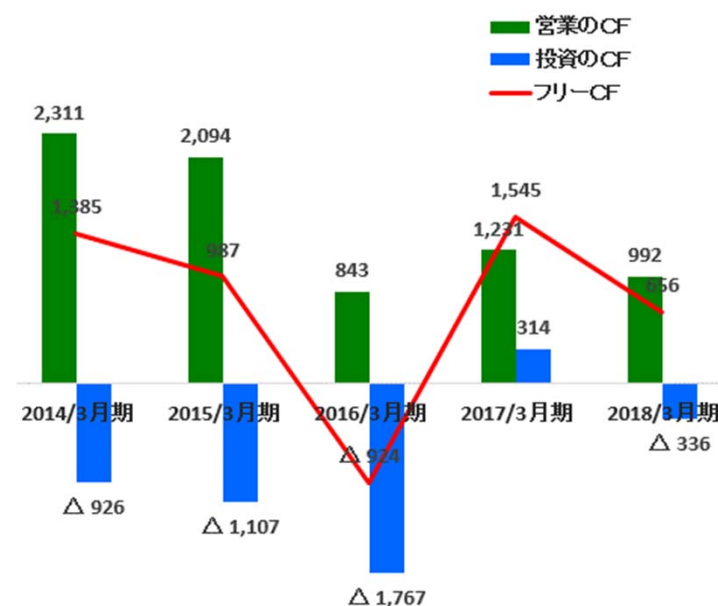


2018年3月期決算概要《連結》

キャッシュフロー概要

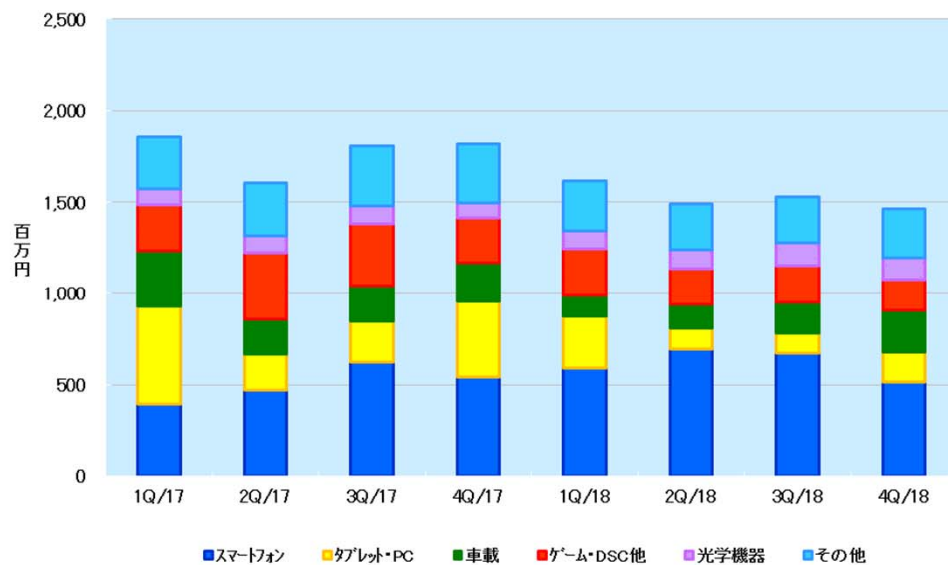
単位:百万円	2018年3月期	2017年3月期	前期比
営業活動によるCF	992	1,231	△ 239
税引前当期純利益	90	△ 2,250	2,340
減価償却費	432	796	△ 364
その他	470	2,685	△ 2,215
投資活動によるCF	△ 336	314	△ 650
固定資産の取得	△ 370	△ 501	131
その他	34	815	△ 781
財務活動によりCF	△ 772	△ 1,313	541
借入金の借入・返済	△ 535	△ 1,075	540
その他	△ 237	△ 238	1
現金等に係る換算差額	22	△ 78	100
現金等の期末残高	9,400	9,495	△ 95
フリーキャッシュフロー	656	1,545	△ 889
NET CASH	7,906	7,565	341

営業CF、投資CF、フリーCF



加工高推移

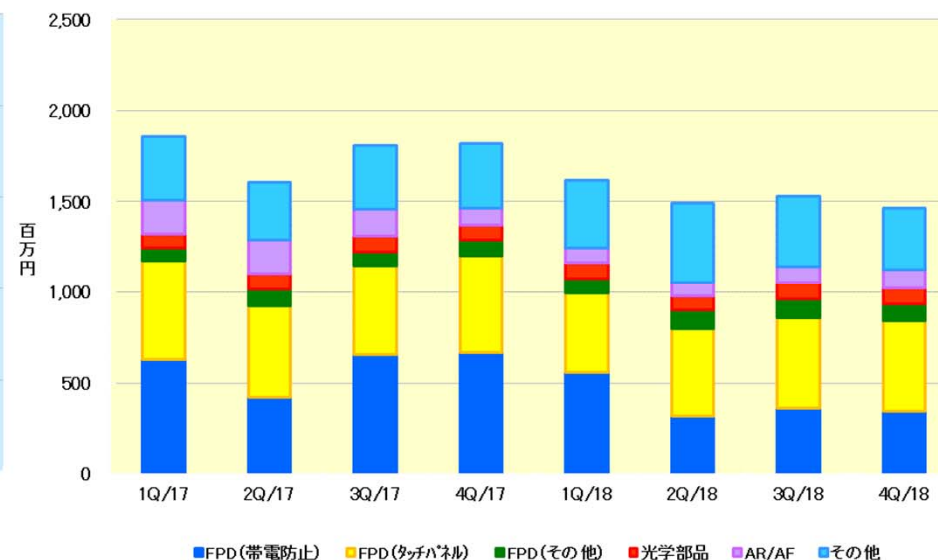
最終製品別加工高推移



← 17.03期実績 →

← 18.03期実績 →

品目別加工高推移



← 17.03期実績 →

← 18.03期実績 →

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

- **帯電防止膜（前期比 67%）**
 - ・タブレット端末向け、需要低迷により大幅な減少
 - ・スマートフォン向け、新規機種向け増加
- **タッチパネル向け導電膜・電極膜・その他（前期比 92%）**
 - ・スマートフォン向け、有機ELパネル用増加／液晶パネル用減少
 - ・カーナビゲーション向け、静電容量方式用増加／抵抗方式用大幅な減少
- **AR/AF膜（前期比 55%）**
 - ・デジタルカメラ向け カバーパネル用大幅な減少
 - ・車載向け カバーパネル用減少
- **加飾（前期比 169%）**
 - ・スマートフォン向け 大幅な増加
- **その他**
 - ・試作案件増加

2019年3月期業績見通しについて

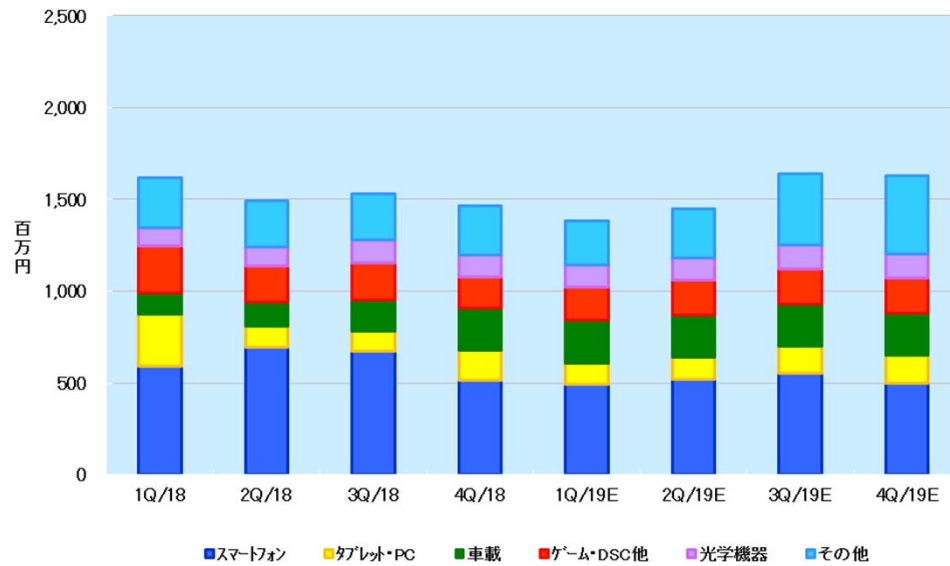
2019年3月期業績見通し

単位: 百万円	2019/3					2018/3 実績
	通期計画	H1計画	H2計画	前年同期比		
				金額	増減率	
売上高	7,000	3,240	3,760	△ 46	-0.7%	7,046
営業利益	40	△ 150	190	△ 57	-58.6%	96
営業利益率	0.6%	-4.6%	5.1%	-0.8%	-	0
経常利益	60	△ 140	200	△ 39	-39.3%	98
親会社株主に帰属する 当期純利益	50	△ 145	195	△ 29	-37.1%	79
加工高	6,100	2,820	3,280	△ 7	-0.1%	6,107
研究開発費	400			21	5.5%	379
設備投資額	570			151	36.0%	419
減価償却費	510	240	270	78	18.1%	432

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上(付加価値収入)のことです。
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

加工高見通し

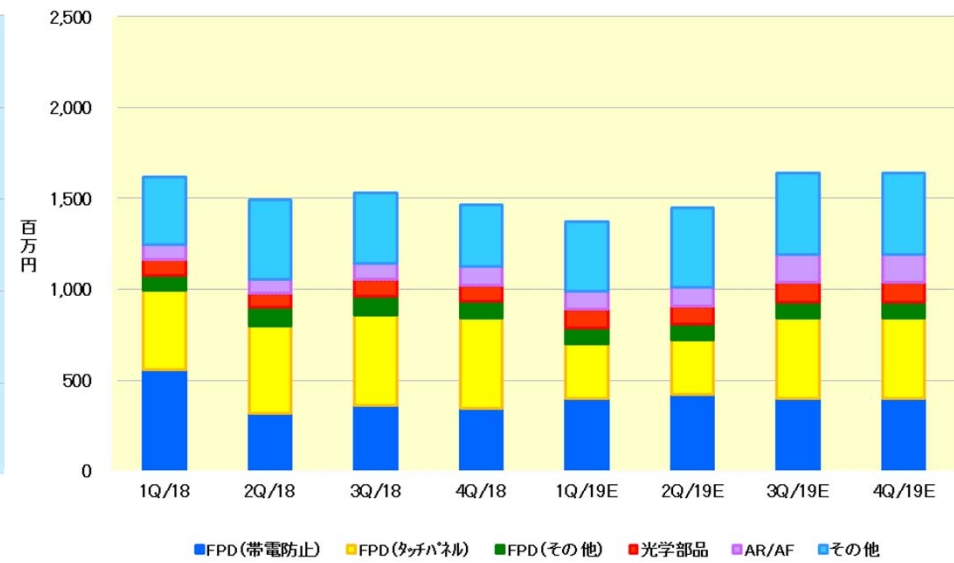
最終製品別加工高推移



← 18.03期 実績 →

← 19.03期 計画 →

品目別加工高推移



← 18.03期 実績 →

← 19.03期 計画 →

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

今後の注力アイテムと産業

FPD

- ・次世代スマホ向け機能膜
高抵抗膜
- ・スマートフォン液晶向け
透明電極
- ・静電容量式タッチセンサー
透明導電膜・金属膜

車載

- ・AR (Anti Reflection)
反射防止
- ・透明ヒーター
融雪、防曇
- ・ハーフミラー
スマートミラー



新規開発

- ・新商品:「g. moth™」
撥水性、防汚性、反射防止
- ・新技術
円筒内部成膜

半導体

メッキ用シード層
Seeders for Plating (t=0.4μm)
密着層
Adhesion Layer
三井金属鉱業株式会社 様
共同開発品「HRDP®」

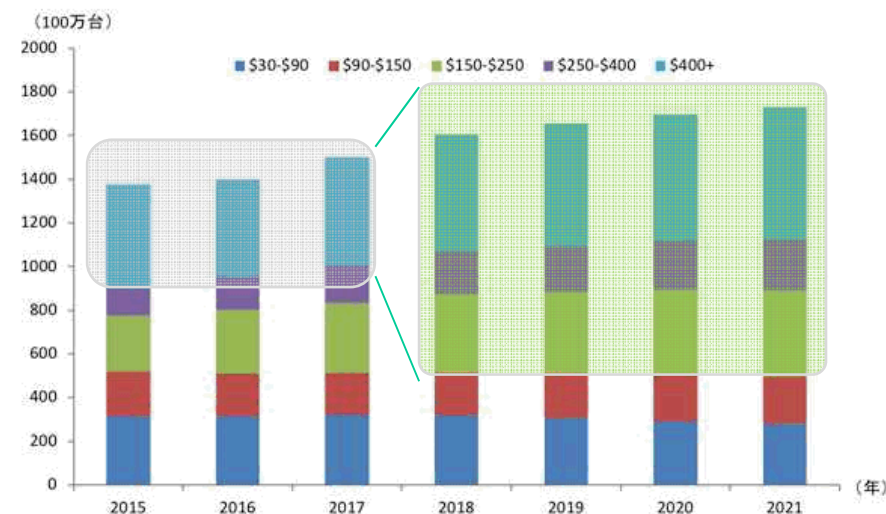
図1 HRDP®の断面構造模式図

注力アイテム：次世代スマホ向け機能膜

FPD

スマートフォン用液晶向け透明導電膜

- ・インセル用 静電気対処の高抵抗膜に注力
- ・主に中国・台湾市場での高評価により、拡販を狙う。



スマートフォン価格帯別出荷台数および予測 (単位：百万台) 出典：IHS Markit

- ・スマートフォン市場は横ばいに対し高抵抗膜の需要は増加傾向
- ・ミドルレンジ機種まで幅広く対応

注力アイテム：機能膜つきパーツ

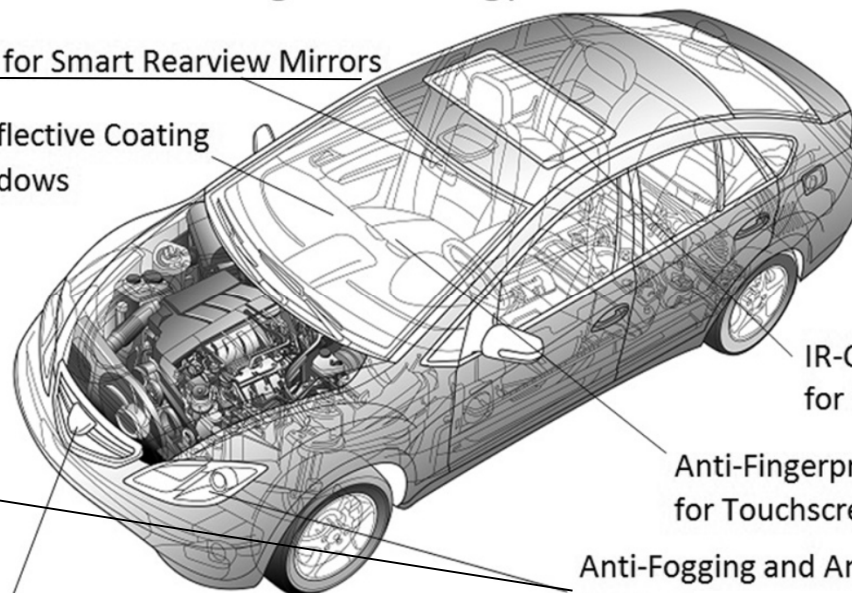
車載



【GEOMATEC Coating Technology for Automobile Parts】

Coating for Smart Rearview Mirrors

Anti-Reflective Coating
for Windows



IR-Cut Coating
for Sunroofs

Anti-Fingerprint Coating
for Touchscreens

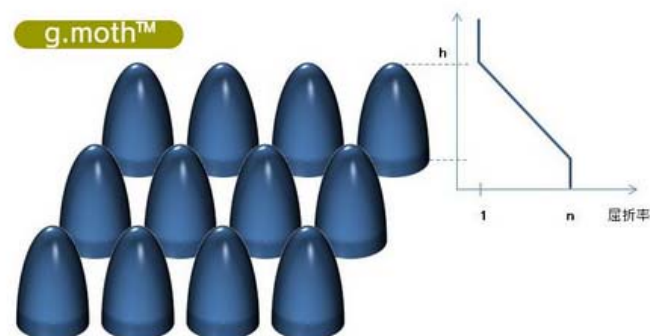
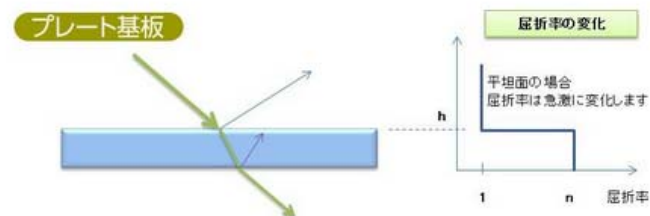
Anti-Fogging and Anti-Freezing
Coating

Decorative Coating for Emblems

新規開発

g.moth™

- ・ 基板表面にナノ構造の凹凸を形成
- ・ 撥水、反射防止、防汚などの機能を付加



ナノ突起を通過する光は緩やかに屈折する。これにより表面反射が小さくなり、透過が大きくなる

撥水性

撥水性は約150°
撥油性のニーズにも対応



反射防止

※反射（映り込み）を比較



防汚性

パイプ内部への汚れ付着を最小限に抑制



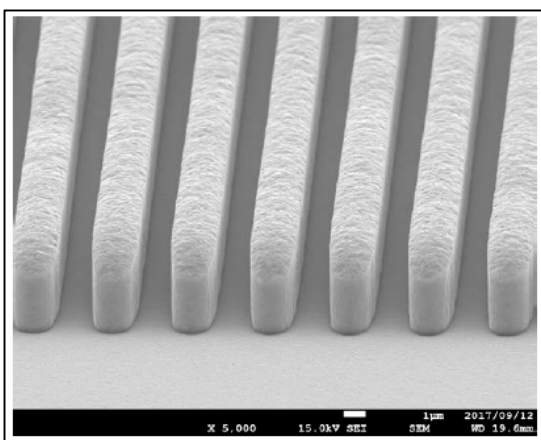
半 導 体

HRDP®

三井金属工業株式会社様と共に量産技術を確立。
HRDP®はガラスキャリア表面上に多層薄膜を形成した構造となっています（写真1、図1）。
その特徴は、高い平坦性を有するガラスキャリア上に形成された極薄の「メッキ用シード層」によって超微細なRDLをパネルサイズ（例600×600mm）で形成でき、また「剥離機能層」によって260℃の熱負荷後でも安定な機械的ガラスキャリアの取り外しが可能。



写真1 HRDP®表面外観写真



2µm/2µmのパターンが可能



図1 HRDP®の断面構造模式図

ご清聴いただき、ありがとうございました

注意事項

・情報提供の目的

当サイトの目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載されている情報は、インターネット上で簡便にご参照いただくために作成されたものです。当社は細心の注意を払っておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当サイトのご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

・将来予測に関する考え方

当サイトに掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。

・投資判断に対する考え方

投資に関する最終的なご決定は、当サイトの情報に全面的に依存することはお控え頂き、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。

・情報内容変更等の可能性

当サイトまたは当サイト上のコンテンツは、予告なく変更、修正、削除、中断することがあります。当社は、サイトに掲載された情報を更新する義務を負うものではなく、その約束をするものではありません。当サイトのいかなる情報についても、常に最新情報に反映されるものでないことをご了承ください。